

会社概要

商 号 技建開発株式会社

代 表 者 代表取締役 武井 清彦

設 立 昭和59年9月5日

資 本 金 2,000万円

事 業 登 録 測量業登録 第(8)-17483号

建設コンサルタント登録 建06第5311号

- 河川、砂防及び海岸・海洋部門
- 道路部門
- 農業土木部門
- 都市計画及び地方計画部門
- 土質及び基礎部門
- 鋼構造及びコンクリート部門
- トンネル部門
- 施工計画、施工設備及び積算部門
- 建設環境部門
- 機械部門
- 鉄道部門

補償コンサルタント登録——補07第3745号

- 土地調査部門
- 物件部門

一級建築士事務所登録

長野県知事登録(飯田)D第02051号

警備業登録——長野県公安委員会第303号

労働者派遣事業——派20-300310

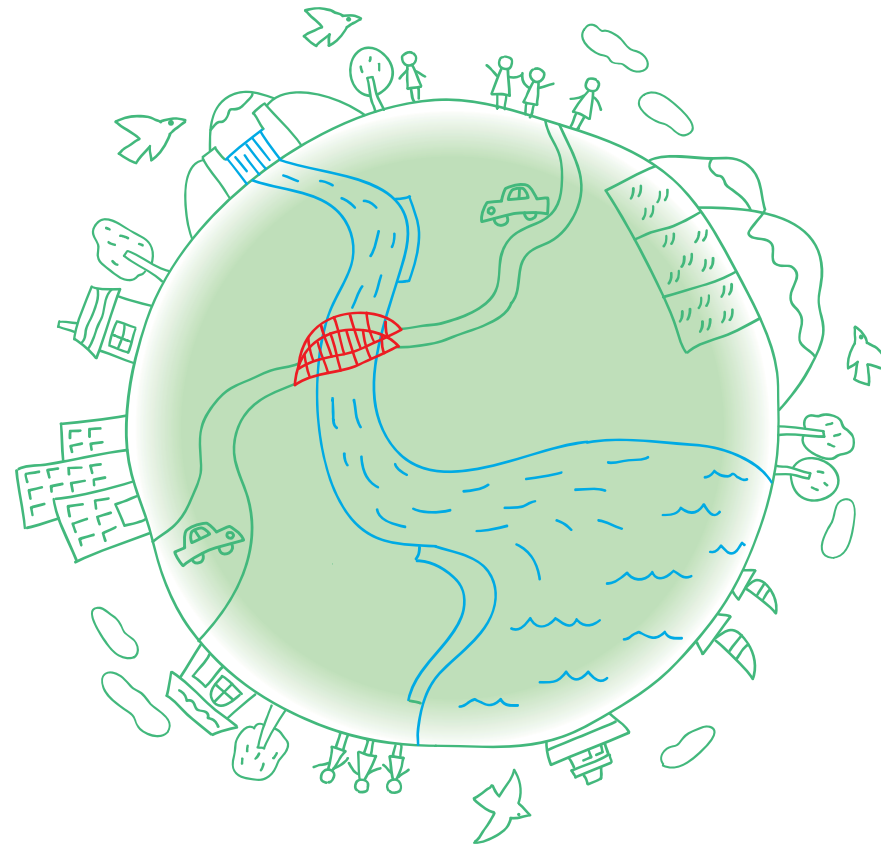
社 員 数 261名(令和7年4月現在)

加入団体等 一般社団法人
建設コンサルタンツ協会
一般社団法人
農業土木事業協会
一般社団法人
長野県測量設計業協会
一般社団法人
赤外線画像診断研究協会
一般社団法人
日本インフラ空間情報技術協会
一般社団法人
長野県警備業協会

有資格者数

工学博士	2名
技術士	1名
建設部門	6名
土質及び基礎	1名
鋼構造及びコンクリート	1名
都市及び地方計画	4名
河川、砂防及び海岸・海洋	9名
道路	1名
鉄道	3名
トンネル	4名
施工計画、施工設備及び積算	5名
建設環境	2名
農業部門	1名
農業土木	1名
機械部門	1名
熱・動力エネルギー機器	1名
応用理学部門—地質	11名
総合技術監理部門	3名
環境計量士(騒音・環境振動関係)	2名
環境計量士(濃度関係)	1名
第1種作業環境測定士(有機溶剤、特化物、粉じん)	1名
騒音・振動関係公害防止管理者	1名
大気関係第一種公害防止管理者	1名
水質関係第一種公害防止管理者	27名
技術士補 建設部門他	45名
RCCM	35名
測量士	34名
測量士補	101名
1級土木施工管理技士	32名
2級土木施工管理技士	6名
1級舗装施工管理技術者	8名
コンクリート診断士	5名
コンクリート構造診断士	2名
コンクリート主任技士	11名
コンクリート技士	1名
岐阜大学ME(社会基盤メンテナンスエキスパート)	1名
名古屋大学N2U-BRIDGE(ニューブリッジ)橋梁診断士	4名
名古屋大学N2U-BRIDGE(ニューブリッジ)橋梁点検士	2名
中部地方整備局認定ICTアドバイザー	9名
Jシステム技術者登録	2名
一級構造物診断士	3名
二級構造物診断士	11名
道路橋点検士	2名
木橋・総合診断士	1名
舗装診断士	8名
河川点検士	4名
農業土木技術管理士	3名
農業水利施設機能総合診断士	4名
農業水利施設補修工事品質管理士	10名
ダム管理技士	3名
一級建築士	6名
1級電気施工管理技士	4名
第一種電気工事士	2名
第三種電気主任技術者	2名
ITC(赤外線トレーニングセンター)レベル1認定	2名
赤外線サーモグラフィ試験レベル1	3名
二等無人航空機操縦士	4名
JUJIDA無人航空機操縦技能者	5名
宅地建物取引士	9名
斜面判定士	2名
のり面施工管理技術者	1名
地質調査技士	

よりよい未来環境へ



Corporate Profile

建設コンサルタント
技建開発株式会社

名古屋支店 〒456-0002 名古屋市熱田区金山町1-7-5 電波学園金山第1ビル3F
TEL.052-746-9575代 FAX.052-746-9570

北陸支店 〒920-0031 金沢市広岡2-7-1 ラフシアビル3F 301号
TEL.076-223-5265代 FAX.076-223-5264

伊那支店 〒396-0013 長野県伊那市下新田3040-1
TEL.0265-98-4033代 FAX.0265-98-4013

本社 〒395-0151 長野県飯田市北方1313-2
TEL.0265-22-9585代 FAX.0265-53-3130

東京支店 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-16-14 フコ代々木ビル7F
TEL.03-6380-4478代 FAX.03-6380-4487

長野支店 〒380-0838 長野県長野市南長野県庁484-1 センターポア301
TEL.026-266-0715代 FAX.026-266-0718

中信支店 〒391-0013 長野県茅野市南川15810-6 マルコービル1F
TEL.0266-78-6317代 FAX.0266-78-6377



建設コンサルタント
技建開発株式会社

事業紹介

施工管理部は、社会資本整備の最前線で発注者支援業務(工事監督支援業務・積算技術業務等)を行います。工事監督支援業務は公共工事と民間工事に対応し、どちらも専門知識と豊富な経験を積んだ技術者が、工事の円滑な履行に貢献します。

一般土木(河川・砂防・ダム・海岸・道路・橋梁・トンネル・下水道等)
農業土木(ダム・頭首工・水路・パイプライン・道路・橋梁・圃場整備等)
計画設計・施工管理・建設関連現場技術・その他各種技術サポート



技術部は、公共事業の各種プロジェクトを高い技術力と豊富な経験によって実現します。プロジェクトの実現に向けて、自然との調和、環境問題等、様々な問題を、多くの実績の中で培ったノウハウと最新の技術を駆使して、理想的な社会環境を提案します。



河川・砂防・ダム・海岸・道路・橋梁・下水道等
測地測量・地形測量・応用測量・補償コンサルタント

都市計画・地方開発企画

インフラインスペクション事業部は、日本経済の成長と共に、急速な発展を遂げた道路・橋梁・トンネル等の道路ストック及び、河川砂防施設並びに農業土木施設について、専門知識と経験を積んだ技術者が点検・調査を行い、老朽化・劣化の進捗を診断し、その対応策を提示することによってインフラストックの維持管理、保全に貢献します。



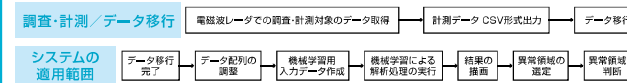
道路施設(道路・橋梁・トンネル・擁壁・函渠・標識照明等)
河川砂防施設(砂防ダム・河川護岸・堤防・地すべり施設等)
農業土木施設(ダム・頭首工・水路・道路・橋梁等)

電磁波レーダ装置で調査対象を計測・取得したデータから自己組織化マップ(SOM)の機械学習分析を採用したクラスター分布表示により損傷を判断するシステムです。



名古屋大学大学院工学研究科の中村光教授との産学共同研究。
研究内容は土木学会論文集にも掲載(2020年76巻3号)

- 電磁波レーダ機(GMS3)にて計測
- 計測データを取り出し、SOMによる損傷の分類処理
- 分類されたデータのグループ毎に色分けした結果出力・損傷の推定判断



調査対象橋梁の上空視(オルソ)画像

機械学習処理後の分布画像

損傷予想箇所の分布画像(選定判断後)

The image is divided into two panels. The left panel, titled '従来の調査' (Traditional Survey), shows a white inspection vehicle with a long, vertical mast extending over a yellow car. Below the car, text indicates '近接目視及び目視検査' (Close visual and visual inspection) and '【足場、車検規制が必要】' (Scaffolding and vehicle inspection regulations are required). The right panel, titled 'JISシステム' (JIS System), shows a red inspection vehicle with a shorter mast. A red diagonal line indicates a height of '2m~90m' and text says '近接目視が不要' (Close visual inspection is not required). Below the car, text indicates '遠望からの調査が可能' (Survey possible from a distance) and '【足場、車検規制は不要】' (Scaffolding and vehicle inspection regulations are not required).

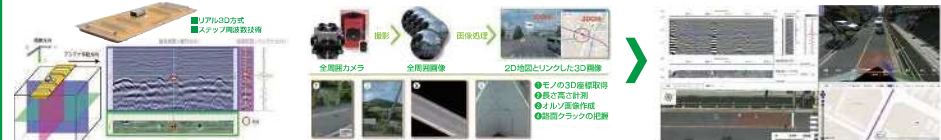
浮き・剥離を100%検出する、より安全で
低コストなコンクリート内部診断です。

損傷レベルが3段階表示(赤・黄・青)でわかりやすく、
判定結果のバラツキを防止。
調査記録を保存し、経年劣化を把握できる。

①可視画像撮影 ②EM(S)装置の設置 ③赤外線調査(夜間)

Jシステムは、近接目視と同等の診断が可能と認められた技術です。

3 地下と地上情報の一元管理



NETIS準推奨技術に選定されている
ひび割れ計測システム「クモノス」と高解像度カメラの
撮影・補正を組み合わせることで、調査精度が向上し、
より広範囲への適応を実現した新技術です。



- 1 120mm先から幅0.2mm以上
ひび割れを安全に計測可能
- 2 視察可能な損傷全てにおいて
測定漏れの防止が可能
- 3 ±3mm以内の位置精度で
正確な経年劣化の調査が可能
- 4 遠方から患害な規尺図の
作成が可能
- 5 補正写真から抽出する
ひび割れ幅の精度が向上
- 6 現場日数の大幅な削減が可能

PC鋼材のシース管グラウト再注入のための補修数量の把握や、補修工法を検討するための基礎資料を得る。

